

# 経営比較分析表

岐阜県 大垣市

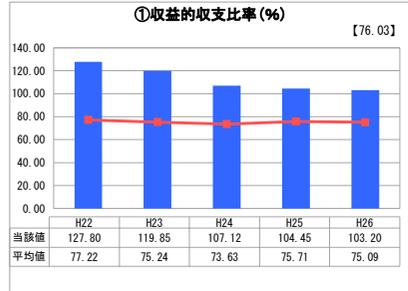
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.62	2,376

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
162,847	206.57	788.34
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,882	13.59	432.82

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



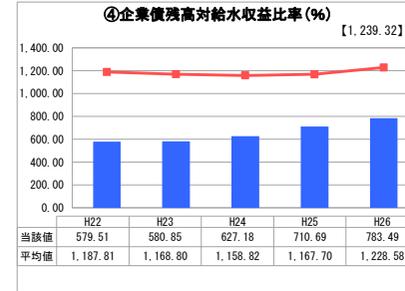
「単年度の収支」



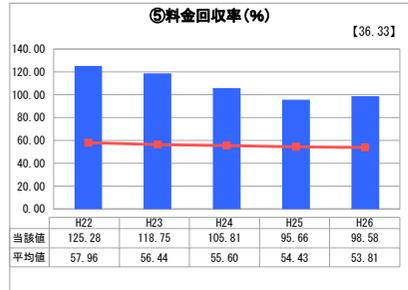
「累積欠損」



「支払能力」



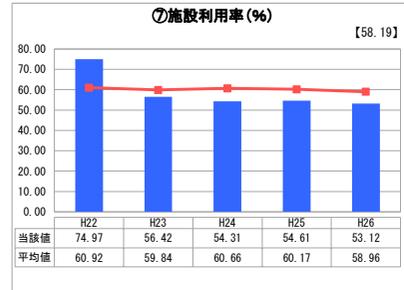
「債務残高」



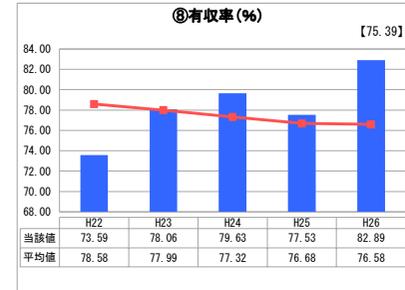
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

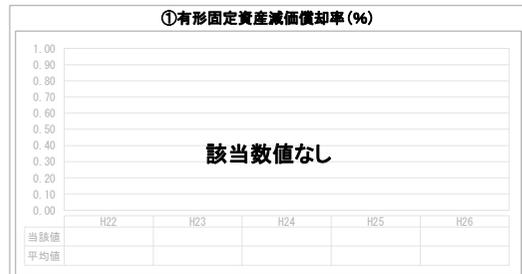


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

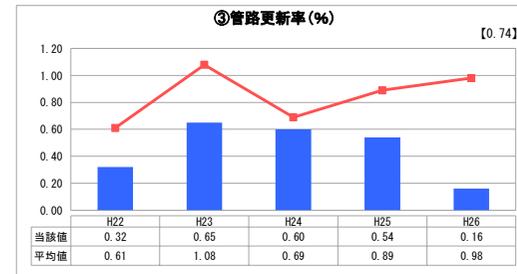
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

大垣市の簡易水道事業(上石津地域)では、収益的収支比率が毎年100%を超えており、類似団体の平均を上回っています。また、給水にかかる維持管理費を必要最小限に抑えているため、給水原価が類似団体の平均を大きく下回っています。ただし、一般会計から繰り入れをしているため、料金回収率が100%を下回っており、給水にかかる費用を給水収益だけでは賄えていないことを示しています。企業債残高対給水収益比率は、現在のところ類似団体の平均を下回っていますが、更新が必要な水道施設が多く、上昇傾向にあります。施設利用率は平均より若干下回っておりますが、上石津地域の現状を把握しながら施設の更新計画を立て、順次、更新を進めています。有収率については、年度毎のばらつきがありますが、もともと給水量が少ないこともあり、漏水等の影響を受けやすいことが原因です。漏水に対しては、毎年漏水調査を実施し、速やかに対応することで有収率向上に努めています。

### 2. 老朽化の状況について

管路更新率が類似団体の平均を下回っており、平成26年度の数値が非常に小さくなっていますが、現在、管路の更新よりも浄水場の更新を優先すべき状況で、一之瀬和田浄水場の改良事業が完了し、牧田浄水場改良事業に取りかかっているところです。水道管については、布設年度や重要管路の把握等は完了しており、今後も計画的に更新を進めていきます。

## 全体総括

大垣市の簡易水道事業は、平成26年度においては一般会計からの繰入金金は繰入基準内にとどまっております。「1. 経営の健全性・効率性」の指標から経営状態が比較的安定しているように見えますが、今後、水道施設の更新にかかる地方債の償還金及び利息の増加が見込まれるため、更なる経費削減を図るとともに、増加する更新費用への対応を検討しています。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。